

第2部 川薩地区法定合併協議会

(川内市、樋脇町、入来町、東郷町、祁答院町、里村、上甌村、下甌村、鹿島村)

第1回協議会(H15.7.10)

下甌村加入、串木野市離脱で川薩地区法定合併協議会設立



川内市内で開かれた第1回川薩地区法定合併協議会

川内市、樋脇町、入来町、東郷町、祁答院町、里村、上甌村、下甌村及び鹿島村の1市4町4村による川薩地区法定合併協議会が平成15年7月10日設立され、第1回協議会が川内市内で開かれた。休止となった川西薩地区法定合併協議会に代わり、串木野市が外れ、下甌村を加えた新たな法定合併協議会として発足した。

協議会に先立って行われた9市町村の首長、議会議長による設置会議で、会長に森卓朗・川内市長、副会長に黒瀬一郎・樋脇町長、今別府哲矢・川内市議会議長を選任。協議会では3氏のあいさつに続き、委員代表として町弘道・下甌村長に森卓朗会長から委嘱状が手渡された。

7月10日発足した新法定合併協議会は、合併期日の目標(平成16年10月12日)など川西薩地区法定合併協議会のこれまでの調整方針、協議結果を原則引き継ぎ、第1回協議会では、川西薩地区法定合併協議会で承認済みの会議運営規程や15年度事業計画・予算、事務事業一元化調整方針、新市まちづくり計画策定方針、合併の方式、合併の期日、新市の事務所の位置など11議案が一部修正のうえ一括上程され、原案通り承認された。

このほか、川西薩地区法定合併協議会で公募済みの新市名称については、新しい枠組みで再度募集することになり、新市名称等検討小委員会が同日設置され、公募方法や選定基準が協議会に提案された。

●協議概要

森卓朗会長のあいさつと委嘱状交付に続いて議事に入り、4件の報告事項と11件の議案審議、4件の提案事項が協議された。報告事項は、「川薩地区法定合併協議会の設置の経緯について」「川薩地区法定合併協議会規約について」「川薩地区法定合併協議会役員について」「川薩地区法定合併協議会監査委員について」が報告され、川薩地区法定合併協議会規約は、平成15年6月30日から7月9日までに、9市町村議会で川薩地区法定合併協議会設置議案が可決されたことにより規約が施行されたことが報告された。

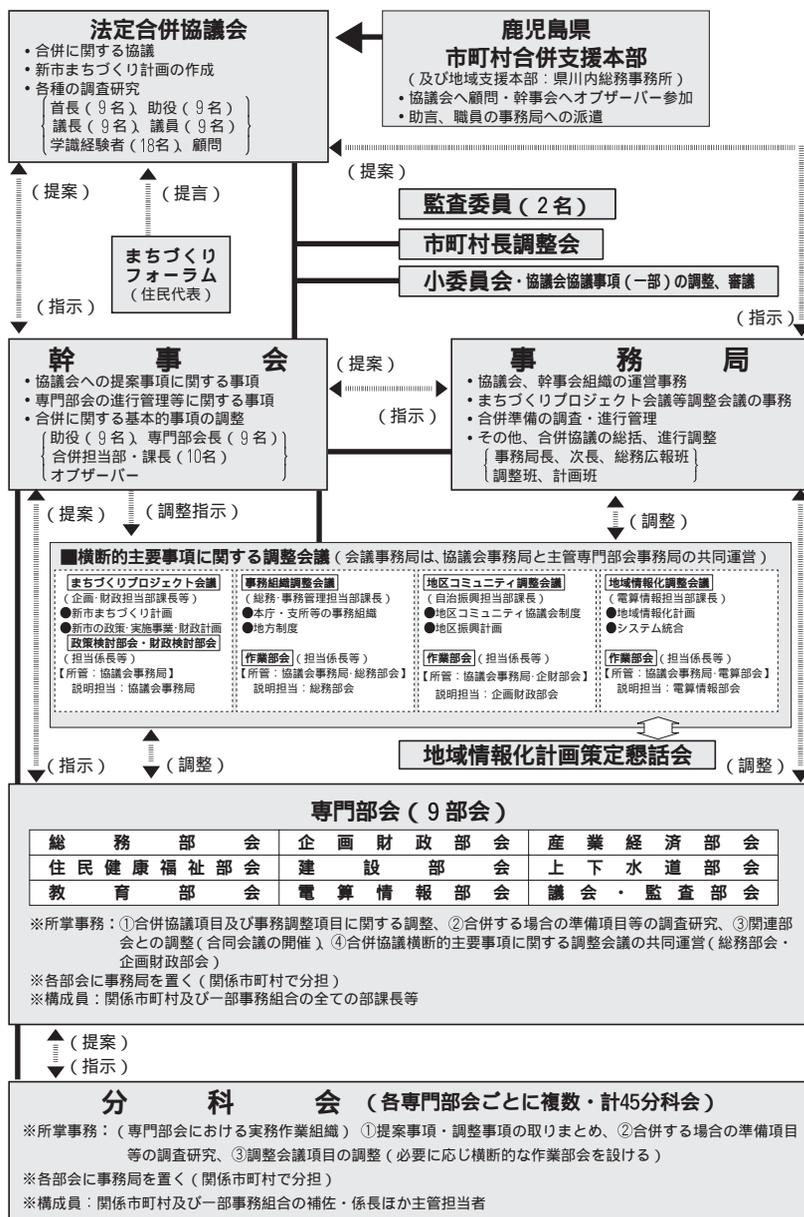
協議会監査委員には、川西薩地区と同じく入来町の代表監査委員の里平盛人氏、東郷町の代表監査委員の中村昌弘氏の2名が川薩地区法定合併協議会の監査委員に選任されたことが報告された。

議案審議では、「川薩地区法定合併協議会会議運営規程（案）」「川薩地区法定合併協議

会会議等の公開に関する指針（案）」「川薩地区法定合併協議会平成15年度事業計画（案）」「川薩地区法定合併協議会平成15年度歳入歳出予算（案）」「事務事業一元化調整方針（案）」「新市まちづくり計画の策定方針（案）」「合併協定項目（案）」「合併の方式」「合併の期日」「新市の事務所の位置」「新市名称等検討小委員会設置規程（案）」を審議した。

事務事業一元化の調整作業は、串木野市のデータを抜き下甕村のデータを入れた修正作業に平成15年7月末を目途に取り組むことが説明された。

川薩地区法定合併協議会組織図



新市まちづくり計画の策定事業は、先送りになっていた計画原案についてのまちづくり広聴会を平成15年8月から9月にかけて9市町村ごとに開催する予定であること、公共的団体の合併統合について、努力規定が設けられている各種団体への説明会を平成15年10月以降、状況を見ながら開催する予定であること、合併協定項目の内容についての住民説明会を平成16年1月から2月にかけて、各市町村ごとに実施する予定であること、合併協定の調印については平成16年2月、合併関連の議決については平成16年3月の予定であることが説明された。

田島春良委員からは、「合併の目標期日である平成16年10月12日について、串木野市等の関係で当初の計画より4カ月近くも事務調整が遅れている現状であり、調整が困難な事務事業が出てきた場合等やむを得ない状況の発生等があった場合には、この目標期日にあくまでもこだわらなくてもよいのでは」との意見が出された。

新市名称等検討小委員会設置規程については、川西薩地区法定合併協議会に引き続き学識経験者委員が小委員会委員となること、小委員会の役割として企画財政部会が所管する合併協定項目の町名、字名について小委員会の意見を徴することが新たに追加された。

中島増夫委員からは、「小委員会の役割となっている町名・

川薩地区法定合併協議会名簿

《協議会会長及び委員》

(H15.7.10現在)

市町村名	区分	職名	氏名	摘要
川内市	行政	市長	森 卓 朗	会 長
		市助	岩 切 秀 雄	
	議会	議長	今別府 哲 矢	副会長
		市町村合併対策特別委員会委員長	岩 下 早 人	
	学識経験者		田 中 憲 夫	
			今 村 妙 子	
樋脇町	行政	町長	黒 瀬 一 郎	副会長
		町助	宮 脇 秀 隆	
	議会	議長	帯 田 博 美	
		副 議 長	田 島 春 良	
	学識経験者		中 島 増 夫	
			宮 元 泰 子	
入来町	行政	町長	福 元 忠 一	
		町助	石 塚 政 揮	
	議会	議長	山 本 佐 敏	
		副 議 長	上 野 一 誠	
	学識経験者		田 島 忠 志	
			吹 田 紘 男	
東郷町	行政	町長	森 園 正 堂	
		町助	和 田 国 昭	
	議会	議長		
		副 議 長	北 迫 茂	
	学識経験者		山 元 温 治	
			田 原 ハル工	
祁答院町	行政	町長	今 村 松 男	
		町助	村 原 政 和	
	議会	議長	安 田 文 仁	
		合併問題対策特別委員会委員長	肥 後 耕 作	
	学識経験者		川 畑 禮 二	
			平 林 徳 子	
里 村	行政	村長	塩 田 至	
		村助	鷲 山 和 平	
	議会	議長	平 嶺 道 夫	
		副 議 長	外 園 加 一	
	学識経験者		純 浦 勝 志	
			山 下 廣 江	
上甑村	行政	村長	蔵 元 欽一郎	
		村助	長 濱 秀 徳	
	議会	議長	中 能 重 行	
		副 議 長	大 良 影 夫	
	学識経験者		西 仙 可 子	
			石 原 弘 子	
下甑村	行政	村長	町 弘 道 孝	
		助役(総務課長)	西 手 正 孝	
	議会	議長	中 川 三 継	
		副 議 長	宮 和 勇	
	学識経験者		日笠山 直 宏	
			宮 野 イネ子	
鹿島村	行政	村長	尾 崎 嗣 徳	
		村助	中 野 捷	
	議会	議長	塩 釜 三 郎	
		副 議 長	橋 野 利 邦	
	学識経験者		小 村 庄 昌	
			塩 釜 悦 子	

顧問

区分	職名	氏名
鹿児島県	総務部地方課長	肥後和紀
	総務部地方課市町村合併推進室長	西中須浩一
	川内総務事務所長	馬場英俊

監査委員

市町村名	役職等	氏名
入来町	代表監査委員	里平盛人
東郷町	代表監査委員	中村昌弘

幹事会幹事

区分	職名	氏名
助役	川内市助役	岩切秀雄
	樋脇町助役	宮脇秀隆
	入来町助役	石塚政揮
	東郷町助役	和田国昭
	祁答院町助役	村原政和
	里村助役	鷲山和平
	上甌村助役	長濱秀徳
	下甌村助役(総務課長)	西手正孝
	鹿島村助役	中野捷
専門部会長	総務部会長	樋脇町総務課長 福留久根
	企画財政部会長	川内市企画経済部長 平敏孝
	産業経済部会長	東郷町経済課長 上戸健次
	住民健康福祉部会長	川内市保健福祉部長 岩下晃治
	建設部会長	川内市建設部長 新武博
	上下水道部会長	祁答院町水道課長 木原研一
	教育部会長	入来町教委総務課長 本田憲證
	電算情報部会長	川内市企画経済部情報推進課長 村尾光政
	議会・監査部会長	樋脇町議会事務局長 岩下満志
合併担当部課長	川内市企画経済部長	平敏孝
	川内市市町村合併対策課参事	今吉俊郎
	樋脇町総務課長補佐	内金雄
	入来町総務課長	水流信雄
	東郷町総務課長	知敷憲一郎
	祁答院町総務課長	鬼塚秀範
	里村総務課長	平嶺休丸
	上甌村企画課長	柳忠喜
	下甌村総務課長補佐	橋口正治
鹿島村総務課長	梶原五郎	

幹事会オプザーバー

鹿児島県	総務部地方課市町村合併推進室長補佐	中野志郎
	川内総務事務所次長	上園辰郎

事務局

事務局職名	氏名	市町村名	所属市町村等の職名
事務局長	田中良二	川内市	企画経済部市町村合併対策課長
事務局次長	川野真司	川内市(鹿児島県)	企画経済部市町村合併対策課市町村合併対策係長(鹿児島県から派遣)
総務広報班	班長	森園一春	入来町 総務課付
	班員	村岡斎哲	里村 総務課合併対策係長
	班員	橋口堅	川内市 企画経済部市町村合併対策課主査
調整班	班長	奥平幸己	東郷町 総務課合併対策室合併対策係長
	班員	上須田敏秋	鹿島村 総務課参事兼市町村合併担当
	班員	大毛昭徳	下甌村 総務課市町村合併担当
	班員	井手上和洋	祁答院町 総務課合併推進係長
	班員	平利朗	樋脇町 総務課市町村合併対策室市町村合併対策係長
	班員	久米道明	祁答院町 総務課合併推進係
	班員	堀切良一	入来町 総務課付
	班員	田代健一	川内市 企画経済部市町村合併対策課主査
	班員	古川太司	樋脇町 総務課付
計画班	班長	古川英利	川内市 企画経済部市町村合併対策課主査
	班員	江口洋	上甌村 企画課企画係兼市町村合併担当主査
	班員	山内拓也	下甌村 教育委員会
班員	堀之内孝充	東郷町 総務課合併対策係	

まちづくりフォーラム名簿

代表：中俣 知大（社会基盤） 副代表：各座長

	社会基盤	生活環境	保健福祉	産業経済	教育文化
川内市	◎中俣 知大	○今村久美子	○伊集院睦子	影山 俊二	春田 和満
樋脇町	○小辻 浩史	猶野 福子	眞野 良子	堂前 一郎	△中島 増夫
入来町	田島 直美	◎池頭 虎光	安藤千代記	◎柏木 俣	○松下 純一
東郷町	桑波田景美	木原清八郎	古城 和行	○小林 三郎	久留須清子
祁答院町	富森 貢	松ヶ野多鶴子	大園 英和	別府 生次	柏原神一郎
里村	村岡 豊治	角 淳子	中村 一行	塩田 将史	角 昭久
上甑村	△小村 亮一	宮下 文明	◎柳 範一	藏元 保海	和田 元子
下甑村	中村 成宏	山内千和子	橋口 俊洲	手柴 廣次	東 みつえ
鹿島村	小村 俊子	小村 俊子	橋野 勝彦	橋野 利明	◎平川 龍一

注：◎印は座長、○印は副座長、△はオブザーバー

これまでの流れ

年月日	事項	内容
平成13年2月～11月	「市町村合併に関する情報交換会」開催(第1回～3回)	2市8町4村会議(助役、主管部・課長)
平成14年3月26日	2市4町4村首長会議	課長級職員で構成する「合併問題勉強会」、課長補佐級以下、係長・担当職員による「調査班」を設置 ※川内市、串木野市、樋脇町、入来町、東郷町、市来町、里村、上甑村、下甑村、鹿島村
4月～7月	勉強会(第1回～第7回)会議 調整班(第1回～第6回)会議	H13年度調査結果報告 行政比較データについて 地域の将来像について 先進事例からみた合併協議の進め方について
8月16日	(仮称)川西薩地区任意合併協議会設立準備会発足	川内市、串木野市、樋脇町、入来町、東郷町、里村、上甑村、下甑村、鹿島村(2市3町4村)で構成
8月29日	準備担当課長合同会議	任意合併協議会での作業内容等 (人事・企画財政・電算・合併担当課長)
9月6日	準備合併担当部課長会	設立総会・第1回任意合併協議会に向けて
9月10日	祁答院町長から協議会準備会への参加申入れ	任意合併協議会設立準備会長へ文書での申し入れ
9月26日	準備助役会	設立総会・第1回任意合併協議会に向けて
9月30日	首長・議長懇談会	祁答院町の任意合併協議会準備会への参加について他
10月7日	川西薩地区任意合併協議会・第1回任意合併協議会	任意合併協議会の設立 規約・役員 14年度事業計画・予算
10月23日	第1回任意合併協議会幹事会	第2回任意合併協議会について
11月8日	第2回任意合併協議会	任意合併協議会における申し合わせ事項について 合併の方式について 合併の期日について 新市の名称の決定方法について 新市の事務所の位置について
11月11日	第2回任意合併協議会幹事会	第3回任意合併協議会について
11月18日	第3回任意合併協議会	法定合併協議会規約 法定合併協議会平成14年度事業計画・予算 事務事業一元化調整方針 新市まちづくり計画の策定方針
12月15日	合併講演会	講師 兵庫県篠山市まちづくり推進課長森本繁氏
12月19日	第3回任意合併協議会幹事会	第4回任意合併協議会・法定合併協議会設置会議・第1回法定合併協議会について
12月25日	第4回任意合併協議会 法定合併協議会設置会議 第1回法定合併協議会	任意合併協議会解散 下甑村を除く2市4町3村で川西薩地区法定合併協議会設立 委員委嘱状の交付 監査委員の選任 平成14年度事業計画・予算

年 月 日	事 項	内 容
平成15年1月9日	第1回法定合併協議会幹事会	第2回法定合併協議会について
1月14日	第2回法定合併協議会	事務事業一元化調整方針 新市まちづくり計画の策定方針 新市名称候補選定小委員会設置規程
2月6日	第2回法定合併協議会幹事会	第3回法定合併協議会について
2月13日	第3回法定合併協議会	新市名称の公募方法等 新市名称候補選定基準等 川西薩地区法定合併協議会会議等の公開に関する指針
2月27日	第3回法定合併協議会幹事会	第4回法定合併協議会について
3月15日	第4回法定合併協議会幹事会	合併の期日 新市の事務所の位置
3月28日	第4回法定合併協議会	合併協定項目 合併の方式 合併の期日 新市の事務所の位置 川西薩地区法定合併協議会平成15年度事業 計画・予算
4月7日	第6回市町村長調整会	串木野市長、川西薩地区からの離脱意向表明
4月23日	第5回法定合併協議会幹事会	川西薩地区法定合併協議会幹事会規程の一部改正
5月8日	第6回法定合併協議会幹事会	第5回法定合併協議会について
5月11日	まちづくりフォーラム提言報告会	フォーラム委員によるパネルディスカッション
5月14日	第5回法定合併協議会	川西薩地区法定合併協議会平成14年度事業 川西薩地区法定合併協議会平成14年度歳入歳出予算決算・監 査報告
5月22日	第7回法定合併協議会幹事会	第6回法定合併協議会について
6月2日	第6回法定合併協議会	条例、規則等の取扱い 電算システム事業
6月14日	第10回市町村長調整会	下甕村長・議会議長、川西薩地区法定合併協議会へ文書で の申し入れ 串木野市長は、「串木野市の離脱の提案も同時でないなら、下 甕村の加入についてののみは議会へ提案できない」旨表明
6月22日	第8回法定合併協議会幹事会	第7回法定合併協議会について
6月26日	第7回法定合併協議会	新市まちづくり計画原案提案
6月28日	(仮称)川薩地区法定合併協議会設 置準備会	川内市、樋脇町、入来町、東郷町、祁答院町、里村、上甕村、下甕 村、鹿島村(1市4町4村)で構成
7月3日	第9回法定合併協議会幹事会	第8回法定合併協議会について
	(仮称)川薩地区法定合併協議会設 置準備幹事会・助役会	第1回川薩地区法定合併協議会について
7月10日	第8回法定合併協議会	
	川薩地区法定合併協議会設置会議 第1回川薩地区法定合併協議会	1市4町4村で川薩地区法定合併協議会設立 委員委嘱状の交付 監査委員の選任 平成15年度事業計画・予算

字名等の取扱いについて、小委員会がこの項目について検討することは極めて責任が重いので、小委員会は意見の聴取だけであるということを確認したい」との発言があった。これに対して事務局から、町名、字名の取扱いについて、幹事会あるいは法定合併協議会への報告・提案については、企画財政部会長が小委員会の意見を聞いて行うことが説明された。

途中、協議会を一旦休憩として新市名称等検討小委員会が開催され、委員長に川内市の田中憲夫委員、副委員長に東郷町の山元温治委員が選任されたことが報告された。

休憩後、協議会を再開し、提案事項として、「新市名称の公募方法等(案)について」「新

市名称候補選定基準等(案)について」「条例、規則等の取扱いについて」「電算システム事業について」が提案された。

◆新市名称等検討小委員会を設置・公募方法等を審議

合併後の新市の名称を審議するための新市名称等検討小委員会が平成15年7月10日、法定合併協議会の学識経験者18人で設置された。川西薩地区法定合併協議会の新市名称候補選定小委員会と同じく、委員長には田中憲夫氏(川内市)、副委員長には山元温治氏(東郷町)が選ばれ、田中憲夫委員長は「果たすべき責任は重い、最善を尽くしたい」と語った。

小委員会では、平成15年8月12日から9月12日までの募集期間や賞品、検討スケジュールなどについて示した新市名称の公募方法等と、既存の市町村名の取扱いなどの新市名称候補選定基準等の協議事項2件について審議された。なお、公募方法等は、同日の首長・議長等会議を経て協議会へ提案された。

川西薩地区法定合併協議会で4月から5月にかけて実施した新市名称の公募には、応募総数1,598件、有効1,449件、無効149件、応募名称種類680件の応募があり、これらは応募者に連絡し、同意があれば川薩地区法定合併協議会への応募作品とすることも提案の中に含まれている。

新市名称検討スケジュール案では、応募作品の中から小委員会の中で5点程度に絞り込み、11月の第9回協議会に提案することとなった。

第2回協議会(H15.7.24) 調整方針案3件を提案

第2回協議会は、平成15年7月24日、祁答院町内で開かれ、「条例、規則等の取扱い」「電算システム事業」の調整方針案2件を承認。「新市名称の公募方法等(案)」「新市名称候補選定基準等(案)」2件を継続審査とした。また、「使用料、手数料の取扱い」「公共的団体の取扱い」「上・下水道事業の取扱い」の調整方針案3件が提案され、関係市町村に持ち帰って協議した後、9月25日開催の第6回協議会で審議することとした。

●協議概要

会議冒頭で森卓朗会長から、平成15年7月18日に開催された串木野市議会特別委員会で川西薩地区法定合併協議会からの離脱についての同意が得られたとして同日付で離脱に関わる手続きを求める文書が提出され、その取扱いについて市町村長調整会において検討した結果、川西薩地区法定合併協議会は活動休止の状態にあり、各議会の様々な意見や周辺市町村の様々な動きがあるため、当分の間、本件については取扱いを保留することが報告された。

次に、平成15年7月11日付で東郷町議会議長に就任し新委員となった北迫茂委員と、同じく東郷町議会議長が指名する議員として新委員に就任した古里貞義委員に森卓朗会長から委嘱状が交付された。

議事に入り「新市名称の公募方法等(案)について」「新市名称候補選定基準等(案)について」「条例、規則等の取扱いについて」「電算システム事業について」の4議案が審議された。

特に新市名称公募に係る2議案については、新市名称の「意味、命名の理由」について、前回提案では未記入は無効の取扱いとしていたが、応募を広く求めるため未記入でも有効の取扱いに変更したこと、さらに旧市町村名をそのまま使ったものは無効としていたが、旧市町村名に組み合わせた名称については有効とするなど7月10日の第1回協議会で提案内容との変更点について説明された。

提案内容の変更について、川内市から見直しが提案された。その内容として、これまでの公募基準は新市の一体性を醸成する意味では理解するが、愛着のある自治体名が消えることを危惧する市民の声があることが説明された。また、公募は多くの種類の募集であって公募と選定は別に考えていただきたいとのこと、そして旧市町村名のそのままの使用はできないが、旧市町村名に組み合わせたもの応募を有効として住民に応募の機会を与えてほしいという要望があったことなどが報告された。

また、9市町村が各議会と協議した7月22日までの集約として、これまでの基準のままが3団体、組み合わせの応募は良しとする団体が6団体であることが報告された。

田島春良委員からは、「提案内容が変わったのであれば、本日審議するのではなく、再度持ち帰り次回協議会にて審議するべきだ」との意見があり、この日は委員の意見を聞き、各市町村が持ち帰り、次回の協議会にて審議することになった。なお、「条例、規則等の取扱いについて」「電算システム事業について」の2議案については提案のとおり了承された。

次に提案事項として「使用料、手数料の取扱いについて」「公共的団体の取扱いについて」「上・下水道事業の取扱いについて」の3件の提案説明があった。この3件については9月25日開催の第6回協議会で審議を予定していることが説明された。

報告事項として、事務局体制、まちづくり広聴会、協議会規程など18件の報告があった。特にまちづくり広聴会については平成15年8月17日から9月13日まで全小学校区・地区で開催し、開催回数は52回を予定していることが報告された。

一部事務組合の協議状況の報告に対し、今村松男委員から平成15年7月11日開催された祁答院地区消防組合議会についての報告があった。これについて祁答院地区消防組合は解散し、薩摩東部地区の消防は宮之城町、鶴田町、薩摩町で作る新町に引き継ぐものとする、また、祁答院町の消防については川薩地区法定合併協議会で協議し新市に引き継ぐものとする旨の提案があり、祁答院町長としては了承したことなどが報告された。

このことを踏まえ、消防分遣隊の設置、分遣所の開設について、新市まちづくり計

まちづくり広聴会日程

祁答院町	8月17日(日)～8月21日(木)
東郷町	8月18日(月)～8月22日(金)
下甌村	8月23日(土)～8月25日(月)
上甌村	8月23日(土)～8月24日(日)
川内市	8月25日(月)～9月13日(土)
里村	8月30日(土)
鹿島村	8月31日(日)
樋脇町	9月3日(水)～9月8日(月)
入来町	9月3日(水)～9月8日(月)

新市まちづくりで広聴会

川薩地区法定合併協議会（川内市など九市町村）は、第三回協議会に提案された。十七日の祁答院町（午後七時半、蘭牟田農村研修センター）を皮切りに約一カ月間、新市まちづくり計画原案を住民に説明し意見を聞く「まちづくり広聴会」を開く。

まちづくり原案は十二日の海上交通網の調査・研究のほか、小学校区ごとの地区コミュニティ協議会設置など盛り込まれている。広聴会は九市町村の小学校区ごとに九月十三日まで五十二回開催。どの会場でも自由に参加できる。住民の意見は原案修正の参考とする方針。

同法定協事務局 0996(23)5111。

17日から川薩法定協

画の中で取り上げるよう今村委員から協議会に要望された。これを受けて川内地区消防組合管理者でもある森会長より、平成15年7月14日に開かれた川内地区消防組合の臨時議会において祁答院町の要望に対し住民の生命財産を守る立場から、早い時期に前向きに検討したいと答弁したことが報告された。

第3回協議会（H15.8.12） 新市まちづくり計画原案を提案

第3回協議会は、平成15年8月12日、樋脇町内で開かれた。

協議では、「新市名称の公募方法等（案）」「新市名称候補選定基準等（案）」の2件を承認。「新市まちづくり計画案」のほか、「地方税の取扱い」「補助金・交付金等の取扱い」「障害者福祉事業」「高齢者福祉事業」についての調整方針案4件が提案された。

●協議概要

会議冒頭で森卓朗会長から、平成15年7月10日、1市4町4村で法定合併協議会を立ち上げて以来、串木野市の関係分を除き下甕村の関係分が挿入された新市まちづくり計画策定、事務事業一元化作業については、約3カ月の遅れを取り戻し、8月17日から52の会場で、新市まちづくり計画の原案について、広聴会を開催することとなったこと、公共的団体の取扱い等で法律に定められている社会福祉協議会については、9つの団体が集まり第

1 回の川薩地区社会福祉協議会合併協議会がスタートしたことなどが報告された。

串木野市の離脱申し入れの問題については、市町村長調整会において申し入れは受けたが離脱を決定したということではないこと、川西薩地区法定合併協議会は休止の状態であり解散でも離脱を承認したことでもないこと、最後はあくまでも構成市町村の議会の議決を経て、決定していかなければならないことなどを改めて確認した。

議事に入り、平成15年7月24日の第2回協議会で提案され継続審議となった「新市名称の公募方法等(案)について」と「新市名称候補選定基準等(案)について」が審議された。

本件については、平成15年8月7日の第2回幹事会及び第2回市町村長調整会で、最終的な議案の確認を行い、提案内容の変更点として、応募方法の「その意味・命名の理由」の未記入は無効の取扱いであったが、小学校低学年生などこの理由を書かない場合も想定されるので、特に書かなくても有効の取扱いとしたこと、公募期間を平成15年8月25日から9月25日まで変更したことが説明された。

なお、旧市町村名の使用については、表記が漢字、ひらがな、カタカナにかかわらず、9市町村名をそのまま使ったものは無効(9市町村名と表記の異なるものでも読みが同じなら無効)とし、ただし9市町村名に(他の文字を)組み合わせた名称については有効とした提案内容については、前回提案と同じであることが説明された。

上野一誠委員からは、「現在の市町村名を大字として残す場合、川内市については60数箇の町名の前に全て『川内』の名前をつけることは問題がある。また、他の町村名が大字として残り、川内市のみが『川内』という名前が消えることは川内市民から見れば好ましくないので、公募方法として、ぜひ旧市町村名を含む場合は有効とすることを認めてもらいたいという意見もあり今回このような提案になったと思う。今後、決定することとなる新市の名称に、もし『川内』が残らなかった場合にはどうするのか。公募と選定は別だという考え方に立っての提案と理解していいのか」、「今後の議事の進め方について、できるだけ全会一致が望ましいが、異なった意見があった場合、今後、どのように取扱うのか。あくまで全会一致とするのか」との意見があった。新市名称の川内市の考え方については、岩切秀雄委員(幹事長)が「公募と選定は別と考えている」と答弁し、また表決については、同じく岩切委員が「全会一致については、会議運営規程第5条で、『会議の議事は全会一致をもって進めることを原則とする。ただし、意見が分かれた場合は、出席委員の3分の2以上の賛成をもって決する』とされており、今後の一元化問題については、全会一致を求めるとするのは難しいことも予想されるので、場合によっては、出席委員の3分の2以上をもって決することもやむを得ないということで、幹事会と市町村長調整会において意見集約していただいた」と答弁した。この2議案については提案のとおり承認された。

引き続き提案事項として「新市まちづくり計画案について」「地方税の取扱いについて」「補助金、交付金等の取扱いについて」「障害者福祉事業について」「高齢者福祉事業について」が提案された。

「新市まちづくり計画原案について」はこの日提案し、最終的な決定は平成15年12月24日の第11回協議会を予定していること、また、この原案については、計画書原案の概要版により平成15年8月17日から開催される広聴会での説明内容として「協議会の位置づけ」「協議の経過と予定」「合併協議項目」「計画策定の経過」「計画原案の概要について」な

どとすることが説明された。

「地方税の取扱いについて」では、個人市民税の均等割、法人市民税の法人税割の税率を川内市の例により調整するとし、また、市町村の合併の特例に関する法律第10条の規定による不均一課税（合併年度に続く5年度に限り現行の市町村の税率を適用できる）が提案され、合併年度に続く3年度間は現行の市町村の税率とする調整案が説明された。

森園正堂委員からは「市民税均等割の不均一課税について、この合併が対等であり、同じ市民になるのであれば、やはり均等割は同一の課税をすべきではないのか。同じ税金とすることで、一体性も生まれてくるのでは」との意見があった。

この5件の提案については、平成15年9月25日開催の第6回協議会で審議を予定していることが説明された。

報告事項では、「合併協定項目市町村協議スケジュールについて」「地域情報化計画策定について」「新市名称等検討小委員会の報告について」「社会福祉協議会の協議状況について」「事務の進捗状況について」「一部事務組合について」の報告があった。

「合併協定項目市町村協議スケジュールについて」では、各合併協定項目の幹事会協議、各市町村内での検討、協議会提案、協議会審議の進め方についての説明があった。

第4回協議会（H15.8.28） 財産の取扱いなど調整方針案5件を提案

第4回協議会は、平成15年8月28日、川内市内で開かれ、「財産の取扱い」「事務組織及び機構の取扱い」「国民健康保険事業の取扱い」「介護保険事業の取扱い」「児童福祉事業」の調整方針案5件が提案された。関係市町村に持ち帰って協議した後、10月24日開催の第8回協議会で審議された。

●協議概要

会議は、森卓朗会長のあいさつの後、「財産の取扱いについて」「事務組織及び機構の取扱いについて」「国民健康保険事業の取扱いについて」「介護保険事業の取扱いについて」「児童福祉事業について」の5件について提案があった。

「財産の取扱いについて」は調整方針案として、1市4町4村の所有する財産は、すべて新市に引き継ぐものとして提案された。

「事務組織及び機構の取扱いについて」は、本庁については、「新市の事務所の位置」により現川内市役所とし、現川内市役所を除く現在の各町村役場をそれぞれの行政区域を所管する支所とする。また、合併前に設置されている関係町の支所、出張所については、出張所とし、現行のまま存続するとの提案があった。

岩下早人委員からは「地区コミュニティ協議会制度などコミュニティの強化を図るなかでどういう組織、機構になるのか。例えば、今の地元の役員だけの組織を作るのか。市職員が配置されて、地域と共にやっていくのか。また、具体的組織・機構が提示されれば説明会や各議会でも議論ができたのでは」との意見が出された。事務局は「地区コミュニティ協議会のあり方については、従来の地区活動組織に民間からの役員をお願いするなど

し、組織の拡充、充実を図っていききたいこと。そして、現川内市では本庁舎のコミュニティ担当課がその地区コミュニティ協議会と直結して活動支援し、他の8町村については総合支所の中に地域振興担当課を設置し、8町村内の地区コミュニティ協議会と関わっていくこと。その地区コミュニティ協議会内に職員が入るか否かの議論はしていないが、深い関わり方は今後、必要だと考えていること。組織図の提示については今後の協議の進捗により、時期を見て提示を検討したい」と回答した。

「国民健康保険事業の取扱いについて」では、特に、国民健康保険税について、合併年度は1市4町4村の例によりその取扱いを承継し、合併翌年度から新市の取扱いによるものとし、賦課方式、税率については、新市において国民健康保険事業の円滑な運営が図れるよう医療費の動向を見ながら合併までに調整するとの説明があった。

町弘道委員から「合併に際しては、サービスは高く、負担は軽いが基本である。もちろん負担の公平性は大事だと考えるが、原案によると甑島においては、負担が加重になるようであるが、急激な負担増とならないよう、調整をお願いしたい」との要望があり、「賦課方式、税率については分科会、専門部会等でさらに検討していきたい」と事務局が回答した。

「介護保険事業の取扱いについて」では、介護保険料について、新市に移行後も当分の間現行のとおりとし、第3次事業計画がはじまる18年度から統一調整する旨の提案があった。

「児童福祉事業について」では、乳幼児医療費助成金は合併時に新たな制度等を制定するとし、特に保育料については著しい差異があり、これを合併時に統一するのは無理があるためそれぞれ現行どおりとし、随時調整するが調整基準を設け、激変緩和を行いたいとの説明があった。

上野一誠委員からは、「調整方針について、『合併時に調整するもの』『合併後速やかに調整するもの』など区分があるが、できるだけ合併前に調整ができるものが多いほど、住民は新市を描くことができる。来年1月の住民説明会でも、住民に具体的方向性を分かってもらうためには、できるだけ合併前に決めるものは決めてほしい」と要望があった。事務局からは「本地区については9市町村という大所帯であり、その差も非常に多く協議が難渋している。合併時までに調整するという調整方針については、先送りするというのではなく、来年1月から2月に開催予定の住民説明会に向けて、本年12月まで、具体的なところまで踏み込んで検討したい」と説明があった。

この5件の提案事項については、各市町村の意見を取りまとめる幹事会協議を経た後、平成15年10月24日開催の第8回協議会で審議されることとなった。

次に、「新市名称等検討小委員会の報告について」「事務の進捗状況について」「9専門部会の進捗状況について」「一部事務組合について」の4件について報告があった。特に一部事務組合について、平成15年8月19日、県の脇田副知事、境総務部長と協議し、確認事項として一部事務組合の枠組みについては地域の協議課題であるが、再編に伴う起債償還・財産処分等に係る法的な課題の整理について、全県統一的な調整を県にお願いしたことが説明された。